





株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第94期（平成14年4月1日～平成15年3月31日）の事業報告をお届けするにあたり、皆様の日頃のご支援、ご高配に心より御礼を申し上げます。

さて、当期のわが国経済は、長引く不況も底を打ち、年初からの輸出の好調に牽引され、緩やかながらも景気回復を思わせる観がありました。しかしながら、年半ばにして失速し、デフレ状態が増幅し、景気は概ね横這いのまま推移いたしました。

このような状況の中において、当社は期首に掲げた命題に向け、軽包装、産業資材、機能性材料の三部門それぞれがプロジェクトを組み、拡販に努めてまいりました。

その成果等につきましては、後述の営業の概況のとおりでございますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

今後の会社の対処としましては、第二次プロジェクトを編成し、新製品と新市場の拡大に注力してまいります。

また、中期計画として、成長分野事業に対し、重点的な設備投資を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年6月

代表取締役社長 山田 次夫

1. 当期の概況

当期におけるわが国経済は、上半期においてはアジア向けを中心とした外需に先導され、緩やかながらも循環的回復局面の兆しが見られましたが、米国経済を中心とする世界経済の先行き不透明感は払拭されぬまま、下半期に至り、デフレの度合いも増し、株価の下落、財政、金融政策の不透明感、イラク戦争の影響への不安等も重なり、企業の設備投資、個人消費の動向ともに横這いのまま推移いたしました。

このような状況の中にあつて当業界は、一部在庫調整の進んだ分野において需要の回復が見られましたが、持続性に欠け、全体的には需要の減退に伴う製品価格の下落をまねき、企業間競争が激化いたしました。

当社におきましては、前期に掲げた課題を一つひとつクリアすべく、各プロジェクトごとの拡販体制を整え、収益力向上に傾注してまいりました。

また、連結子会社である東邦樹脂工業株式会社におきましては、特化した製品の拡販に努めてまいりましたが、厳しい企業間競争に押され、業績は、減収減益となりました。

この結果、当連結会計年度の業績は売上高292億27百万円で前期比0.7%増、経常利益10億26百万円で前期比65.8%増、当期利益5億21百万円で前期比51.1%増となりました。

また、当期の単体の売上高は254億63百万円で前期比2.1%増、経常利益は8億68百万円で前期比109.3%増、当期利益は4億28百万円で前期比95.6%増となりました。

2. 部門別営業の概況

当社の単体における部門別営業の概況につきましては、次の通りであります。

(軽包装部門)

軽包装部門におきましては、長引く景気停滞で回復の兆しが見られないまま、さらに個人消費の低迷と、表示問題や農薬問題等も加わり、特に食品包装が大幅に減少しました。また、企業間の安価攻勢の激化もあり包材価格にも大変厳しい状況でありました。

そのような状況にあって、特徴あるイーージーオープンフィルム「サンシール」や電子レンジ対応包装材「レンジDo!」、逆止弁付きエア緩衝材の積極的拡販に取り組んでまいりました。

その結果、数量では前期比5.3%減、売上高は118億52百万円で前期比5.4%減になりました。

(産業資材部門)

産業資材部門におきましては、飽和市場の様相を呈し、数量、売上とも業界の増加は見られず、海外を含め安価品の攻勢とシェア争いが激しく、部分的な新規品の採用はあるものの、全体として低迷いたしました。

その結果、数量では前期比3.0%減、売上高は77億24百万円で前期比2.7%減となりました。

(機能性材料部門)

機能性材料部門におきましては、ITバブル崩壊の影響を受けた前期に比し、光学関連用途の回復が著しく、PACはフル稼働で推移いたしました。また、サニテクトも自動車用途の増量があり、フル稼働で推移いたしました。

その結果、数量では前期比36.7%増、売上高は48億63百万円で前期比28.3%増となりました。

3. 今後の見通し

デフレ経済の進行により、景気の不透明感が増す中で、イラク戦争の影響は米国経済の景気減速に繋がり、わが国の経済にもおよぼすものと予測されます。

当業界においてはイラク戦争を契機に原油価格の上昇により、原材料への値上げ圧力が加わり、さらに企業間競争は激化するものと予測されます。

このような状況が予測される中において、当社では企業体質の改善と収益構造の強化を図り、引き続き部門ごとに特徴ある事業戦略を展開してまいります。

軽包装部門では、従来の特化した製品に加え、医薬品向けの包装材として高防湿性PTPシート「テクニフィルム」の展開を進めてまいります。

産業資材部門では、環境問題への対処を考慮し、ノンソルベントタイプの新規製品の開発を鋭意進め、基盤の強化によるシェアアップを図ってまいります。

機能性材料部門では、今後とも、光学関連用途の表面保護フィルムを中心に機会損失が発生しないように、高品質な製品を供給し続けてまいります。

以上のとおり、特に成長分野事業の需要拡大への的確な対応、重点投資を進め、確固たる収益基盤を構築してまいります。

これにより、通期の数値目標として、単体ベースでは、売上高264億32百万円（前期比3.8%増）、経常利益10億03百万円（前期比15.6%増）、当期利益5億32百万円（前期比24.3%増）、また、連結ベースでは、連結売上高305億40百万円（前期比4.5%増）、連結経常利益11億42百万円（前期比11.3%増）、連結当期利益6億05百万円（前期比15.9%増）を見込んでおります。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成15年3月31日現在)	(平成14年3月31日現在)
資産の部		
現金及び預金	3,755,263	2,935,311
受取手形及び売掛金	9,765,733	9,935,475
有価証券	593	58,123
たな卸資産	3,000,674	3,361,848
その他	252,791	345,401
貸倒引当金	△56,760	△218,893
流動資産合計	16,718,296	16,417,266
建物及び構築物	1,986,514	2,073,357
機械装置及び運搬具	3,406,855	3,414,870
土地	801,614	801,614
建設仮勘定	230,158	397,598
その他	72,086	76,158
有形固定資産合計	6,497,230	6,763,600
営業権	15,269	22,317
その他	17,800	25,002
無形固定資産合計	33,070	47,320
投資有価証券	2,079,529	2,134,840
長期貸付金	23,684	33,798
その他	795,197	637,415
貸倒引当金	△185,349	△39,575
投資等合計	2,713,062	2,766,479
固定資産合計	9,243,363	9,577,400
資産合計	25,961,659	25,994,666

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成15年3月31日現在)	(平成14年3月31日現在)
負債の部		
支払手形及び買掛金	5,351,647	5,445,603
短期借入金	3,671,000	3,761,000
一年内償還予定社債	20,000	150,000
一年内返済予定長期借入金	341,334	392,464
未払金	556,263	485,308
未払法人税等	280,601	249,748
賞与引当金	438,406	453,993
その他	295,588	196,588
流動負債合計	10,954,841	11,134,705
社債	310,000	120,000
長期借入金	665,140	740,474
退職給付引当金	958,518	847,519
役員退職慰労引当金	164,340	382,250
連結調整勘定	156,493	219,091
その他	61,720	76,185
固定負債合計	2,316,212	2,385,519
負債合計	13,271,054	13,520,225
少数株主持分	118,322	115,283
資本の部		
資本金	1,599,000	1,599,000
資本剰余金	1,522,559	1,522,559
利益剰余金	9,299,758	8,968,872
その他有価証券評価差額金	163,626	278,475
自己株式	△12,662	△9,750
資本合計	12,572,282	12,359,157
負債、少数株主持分及び資本合計	25,961,659	25,994,666

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	(平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)
売上高	29,227,778	29,031,108
売上原価	25,326,959	25,376,773
売上総利益	3,900,818	3,654,334
販売費及び一般管理費	2,908,768	3,076,895
営業利益	992,050	577,438
営業外収益	124,080	145,006
受取利息	3,451	3,477
受取配当金	32,599	29,369
連結調整勘定償却額	62,597	62,597
その他	25,431	49,560
営業外費用	89,487	103,074
支払利息	65,796	83,343
売上割引	8,132	11,266
その他	15,558	8,464
経常利益	1,026,643	619,371
特別利益	24,503	66,054
投資有価証券売却益	24,503	66,054
特別損失	106,316	67,934
会員権評価損	40,105	28,775
固定資産売却損	—	4,520
固定資産除却損	7,283	18,484
投資有価証券評価損	58,927	16,155
税金等調整前当期純利益	944,829	617,490
法人税、住民税及び事業税	417,884	263,471
少数株主利益（控除）	5,026	8,676
当期純利益	521,918	345,342

利益剰余金計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	(平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)
利益剰余金期首残高	8,968,872	8,821,241
利益剰余金増加高	521,918	345,342
当期純利益	521,918	345,342
利益剰余金減少高	191,033	197,711
配当金	144,283	144,311
役員賞与	46,750	53,400
利益剰余金期末残高	9,299,758	8,968,872

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	(平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,897,313	1,158,505
投資活動によるキャッシュ・フロー	△825,205	△1,426,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△309,684	160,282
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	762,422	△107,421
現金及び現金同等物の期首残高	2,993,434	3,100,855
現金及び現金同等物の期末残高	3,755,857	2,993,434

単体財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成15年3月31日現在)	(平成14年3月31日現在)
資産の部		
現金及び預金	3,480,395	2,796,715
受取手形	4,030,793	4,189,251
売掛金	4,776,359	4,455,900
有価証券	593	58,123
たな卸資産	2,682,714	3,058,935
その他	210,658	316,394
貸倒引当金	△53,849	△215,126
流動資産合計	15,127,665	14,660,194
建物	1,617,380	1,714,784
機械装置	2,881,413	2,991,658
土地	351,049	351,049
その他	450,524	629,227
有形固定資産合計	5,300,367	5,686,720
無形固定資産合計	28,711	40,754
投資有価証券	2,041,230	2,005,438
関係会社株式	634,500	634,500
その他	781,141	611,995
貸倒引当金	△185,334	△39,555
投資その他の資産合計	3,271,537	3,212,377
固定資産合計	8,600,617	8,939,852
資産合計	23,728,282	23,600,046

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成15年3月31日現在)	(平成14年3月31日現在)
負債の部		
支払手形	3,084,568	3,435,788
買掛金	1,621,712	1,312,653
短期借入金	3,301,000	3,331,000
未払金	430,932	401,360
未払法人税等	247,300	217,306
賞与引当金	370,000	380,000
その他	547,526	473,518
流動負債合計	9,603,041	9,551,626
社債	310,000	120,000
長期借入金	567,140	710,474
退職給付引当金	794,832	691,343
役員退職慰労引当金	135,940	337,350
その他	23,459	18,556
固定負債合計	1,831,371	1,877,723
負債合計	11,434,413	11,429,349
資本の部		
資本金	1,599,000	1,599,000
資本剰余金	1,522,559	1,522,559
利益剰余金	9,020,507	8,776,308
その他有価証券評価差額金	164,464	282,578
自己株式	△12,662	△9,750
資本合計	12,293,869	12,170,696
負債、資本合計	23,728,282	23,600,046

損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	(平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)
売上高	25,463,219	24,945,891
売上原価	22,092,898	21,881,763
売上総利益	3,370,320	3,064,128
販売費及び一般管理費	2,495,995	2,652,595
営業利益	874,325	411,533
営業外収益	74,304	93,432
受取利息	1,476	2,341
受取配当金	45,710	42,483
雑収入	27,117	48,607
営業外費用	80,333	90,170
支払利息	54,393	71,654
売上割引	8,132	11,266
雑損失	17,807	7,249
経常利益	868,295	414,794
特別利益	—	66,054
投資有価証券売却益	—	66,054
特別損失	64,212	66,187
会員権評価損	40,105	28,775
固定資産除却損	3,305	16,736
固定資産売却損	—	4,520
投資有価証券評価損	20,802	16,155
税引前当期利益	804,083	414,661
法人税、住民税及び事業税	345,000	230,000
法人税等調整額	30,602	△34,394
当期利益	428,481	219,056
前期繰越利益	138,173	203,421
中間配当額	72,130	72,152
当期末処分利益	494,523	350,325

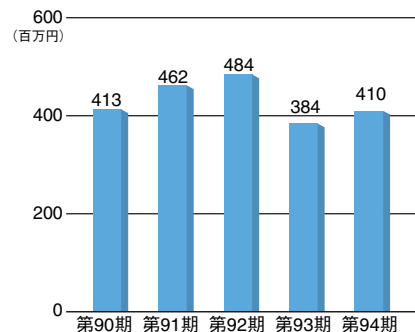
利益処分

(単位：円)

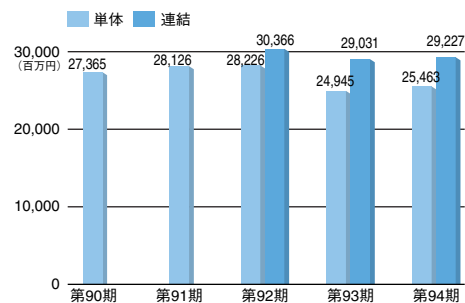
科目	当期	前期
当期末処分利益	494,523,797	350,325,646
これを次の通り処分いたします。		
株主配当金	72,111,900	72,152,500
役員賞与金	32,000,000	40,000,000
(うち監査役)	(2,400,000)	(2,400,000)
別途積立金	200,000,000	100,000,000
次期繰越利益	190,411,897	138,173,146

研究開発費

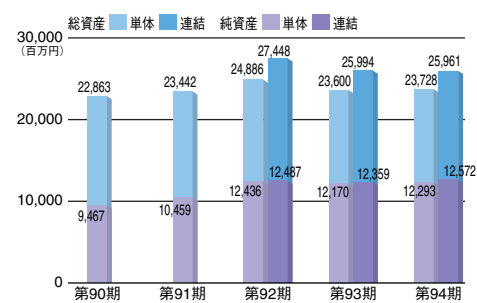
(単位：百万円)



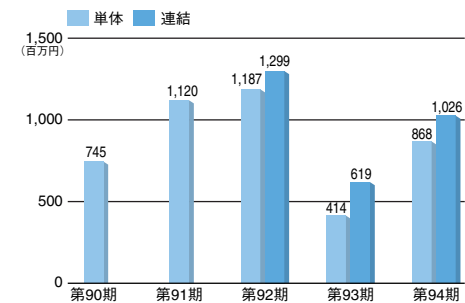
●売上高



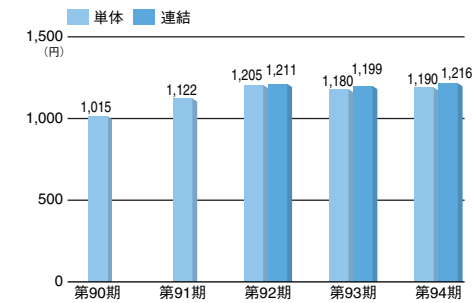
●総資産・純資産



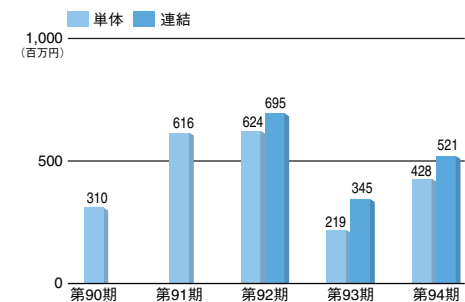
●経常利益



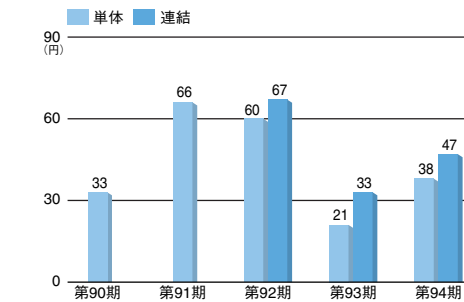
●1株当たり純資産額



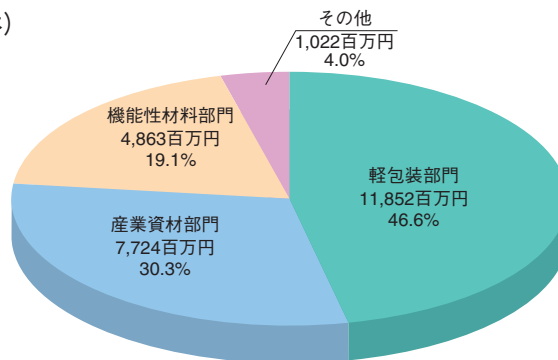
●当期純利益



●1株当たり当期純利益



第94期部門別売上構成比（単体）



Topics

第16回インターフェックスジャパンへ出展 (16TH INTERPHEX JAPAN)

“医薬品・化粧品・洗剤業界” アジア最大の専門展が東京ビッグサイト（2003年5月14日～16日）で開催されました。当社は、ダイキン工業株式会社およびニチメン株式会社と共同で「テクニフィルム」を出展し、多くの医薬品関係者の注目を集めました。

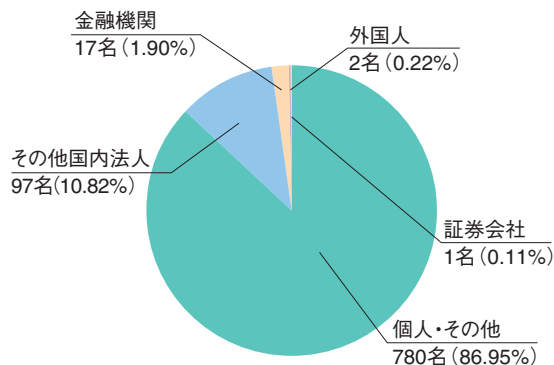
テクニフィルムは国内初の純国産PCTFEフィルム（プラスチックの中で最高の防湿性能を有します）をラミネートした超高防湿シートです。テクニフィルムは医薬品用PTPシートや、電子部品の一般絶縁用途、その他湿度に弱い商品の包装用防湿フィルムとして適しています。同製品は米国FDA DRUG MASTER FILE#1378にも登録されています。



■株式の状況

- 会社が発行する株式の総数……………24,000,000株
- 発行済株式の総数……………10,320,000株
- 株主数……………897名

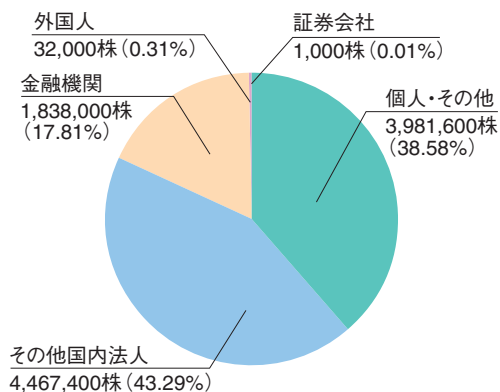
■所有者別株主数



■大株主の状況

大株主	当社への出資状況	
	持株数(千株)	議決権比率(%)
株式会社岡本	1,807	17.66
昭和パックス株式会社	1,244	12.15
サンエー化研社員持株会	464	4.53
みずほ信託退職給付信託昭和パックス口 再信託受託者資産管理サービス信託	300	2.93
日本マスタートラスト信託銀行(株) 退職給付信託口昭和パックス(株)口	300	2.93
ニチメン株式会社	227	2.22
株式会社東京三菱銀行	200	1.95
株式会社みずほ銀行	200	1.95
株式会社UFJ銀行	150	1.47
株式会社三井住友銀行	150	1.47

■所有者別株式数



■概要

商号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都千代田区神田淡路町2-23-1
設立	昭和17年9月
資本金	15億99百万円
従業員数	456名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原料として軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護フィルム等、包装材料関連製品の製造と販売

■役員

代表取締役社長	山田 次 夫
専務取締役	杉本 開 路
専務取締役	亀山 光 三
専務取締役	家島 裕 嵩
取締役	池野 勝 之
取締役	宮城 康 郎
取締役	鷺野 喜 八 郎
取締役	角田 幸 保
取締役	葛野 正
取締役	林 喜 久 雄
常勤監査役	野 寄 彰 道
監査役	渡 邊 薫
監査役	岡 本 知 久



当社ホームページのご紹介

当社では、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、業務内容や最新の企業情報、新開発製品などについてお知らせするホームページを開設しています。是非、ご覧ください。

ホームページアドレス：<http://www.sun-a-kaken.co.jp/>



株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月中
配当金支払い株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
基準日	3月31日 その他必要があるときは、取締役会で決議し、あらかじめ公告する一定の日
1単元の株式の数	1,000株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号(〒100-8212) 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都豊島区西池袋一丁目7番7号(〒171-8508)
電話お問い合わせ先	三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話03(5391)1900(代表) 自動音声応答サービス 0120-86-4490 〔住所変更、配当金振込指定、変更に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求を24時間承っております。〕
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
単元未満株式買取り請求所	名義書換代理人の事務取扱所および同取次所

(お知らせ)

平成15年4月1日施行の商法改正により「株券失効制度」がスタートし、株券を喪失された場合の手続が従来の公示催告・除権判決に基づく再発行手続より簡便となりました。詳細は名義書換代理人にご照会ください。

株式会社 サンエー化研 Sun A. Kaken Company, Limited.

東京都千代田区神田淡路町2-23-1
TEL.03-3258-3110 FAX.03-3258-3108

<http://www.sun-a-kaken.co.jp/>